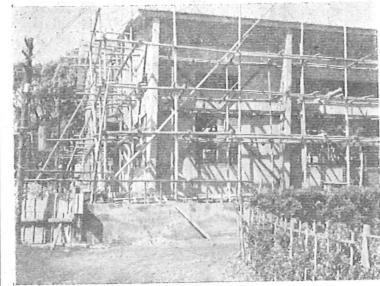


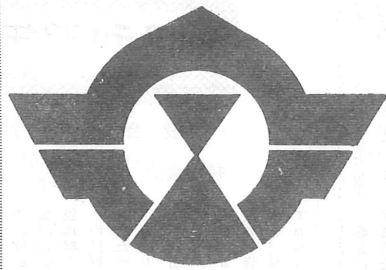
講堂兼公民館

5月10日竣工めざす

鉄骨にモルタル塗り耐震耐火の講堂も、急テンポに工事が進捗し五月初旬竣工の見込みもついている。目下の工事状況は外装の下づけ完了し、仕上げに入っている。内部はステージ其の他壁の仕上げ、天井のテラス張り等が残っている。渡り廊下は校舎とのりり合せ、ペンキ塗り等完了している。業者も五月十日竣工めざして急いでいる。



(完成間近かな調度)



「宮」を図案化した「宮」に図案化した「二」を配し円型と翼型とにまとめ融和団結と飛躍伸長を象徴す。

一位 浜松市広沢町七五 静岡大学 教授 豊沢 昇
二位 福岡県八幡市黒崎局区内下 湧坂 江口 節
三位 仙台市 北五 北島五朗
四位 福岡県大居局区内坂下 片山万朗
五位 横須賀市不入所町四ノ三二 磯山保志
六位 二宮町二宮 小泉昭彦
他十九点
一位入賞作品は、二宮町を象徴化して新鮮な感覚で象徴した点、町の歌その他を行くことになった。

町章きままる

……力作七百点の中から……

さきに講堂落成を記念して町章の募集をしたが、町内は勿論全国各地から応募を頂き、その数は実に六九四点の多数に達した。

審査は美術家内藤俊、藤井白映、横田七郎の三画伯、議会代表小泉(総務委員) 脇(経済委員) 橋川(厚生委員)の各議員と町

広報にのみや

第 19 号

発行所 二宮町役場
電話 二宮 68・353番
印刷所 池田印刷所
電話 二宮 120番

一町の人口動態
昭和33年4月1日現在
世帯数 2,752世帯
人口総数 13,415人
男 6,608人
女 6,807人
出生21人 死亡4人
転入84人 転出117人



(町章審査風景)

公共事業施設 二宮町職業補導所 入所案内

◎町の施設としてシシンの関係の仕事で、経験あるなしにかかわらず収入を得られる指導として居りますから、是非御希望の方は見学等々お越し下さい。

◎就職にはまだ大分暇のある方。就職がきまらぬ方。失業された方。寸暇を利用したい方。暮しの為の備えたい方。……御遠慮なく相談に來て下さい。

◎実際の仕事の内容や詳細に付きましては、直接お出で下さった方が御便利と思います。

◎五月三十日迄毎日(日曜日は休みです)午前八時半より午後五時迄御相談に應じます。

二宮町北口 二宮町職業補導所
電話 一三四番

消防団役員 かわる

一團長 西山信次
副團長 田島松三郎
消防団長 西山 信次
副團長 橋川 光造
第一分団長 小崎 治助
第二分団長 原 兼太郎
第三分団長 野谷 万造
第四分団長 小林 智義
第五分団長 柏木 智義

恒例敬老会の御案内

二宮町と言えは長寿の町、長寿の町と言えは敬老会も、数十年前から陽春四月始めに開催して来ましたが、本年は講堂の竣工をまつて、来る五月十八日午前十時から新築した大ホールで、恒例の敬老会を開催することになりました。

該当の方は明治二十二年十二月末日生れ以前の方で、町からも御案内状を差し上げますが若し調査誤れがありましたら誠に申訳ありませんので、町内に各名簿を調査の場にお届けいたしますし、隣組同覧板でも廻しますので御確認願います。当日は幼稚園、小学校、青年会、婦人会の方、心から皆様の御接待したいと色々計画しておりますので、何卒御出席下さいませよう御案内申し上げます。

自転車荷車税が廃止になりました!!

今般地方税法の一部が改正になり、従来、自転車荷車税が廃止になり、新たに軽自動車税が新設されました。四月より新車に新設されたので、原動機付自転車と一緒に新たに軽自動車税として大抵五月中旬頃町から徴税令書が発行される予定です。故に御承知下さい。

但し取得、廃車等届出の方法は今までと変わらなから御注意下さい。

5月17日落成式舉行

講堂兼公民館落成と多彩な記念行事

五月初旬の竣工、県建築課の検査を受けて、落成式は十七日午前十時に挙行することになりました。

祝賀の儀として午後三時から五時迄NHK出演の芸能人、浪曲(太閤記長短合長講一席) 木村重松、大神樂を海老一衆の助全衆太郎外四名、漫才新山悦郎春木鏡子の皆様御登場を願うことになりました。又三つの歌の公開録音は午後五時半から七時迄宮田アウンサーの司会天地佐夫氏のピアノで行われます。出陣希望の方はNHK横浜放送局に普通ハガキで御申込下さい。申込形式は近日横浜放送局よりポスターを届けますので、第次才町内に掲示いたします。

又二宮町体育協会では記念行事に協力され町内対抗の駅伝競走を計画しております。

十八日は午前十時から恒例の敬老会、午後二時

たばこは 町内で買いましよう!!

毎日皆さんが買って居るたばこの900が「たばこ消費税」といつて町の大切な収入になります。

SHINSEI	3月60銭
Peace	3月60銭
光	2月70銭
いこい	4月50銭
ぱつぱ	2月70銭

町内で32年4月~33年3月迄売上げた総額が30,847,650円 それに対し…… 2,776,330円が町の収入になっております

昭和33年度当初予算成立す

一般会計予算総額 44,879,770円
特別会計 国民健康保険予算総額 5,475,141円
 直営診療所予算総額 7,484,910円

二宮町議会定例会は、三月二十四日より会期四日間をもって開会三月二十七日十一議案を原案可決してその幕を閉じた。本定例会においても重要な議案である昭和三十三年予算について、会期第一日において町長より予算編成方針と大綱が次のとおり説明せられた。

学校給食とプール建設 本年度重点事業

昭和三十三年予算に付いて、大略の説明を致します。

歳入 本年度の予算編成に当りましては、所得税の軽減がありまして、歳入面を把握するに困難を極め、町民税に於ては資料の来着したものに就いて今後を見通し、大体実体に近い数字を算出したいと思ひ、鋭意努力をなしました。

町民税の基礎を五千万円に置き、三十二年に五千万円に引き上げ、これを分折し、特別徴収に三千六百万円、其外二千六百万円となり、特別徴収分本年度の報告あつた分を集計して見ますと、総体に於て約二割減となつておるので、三十三年には二千

九百万円を見込みました。以外の方に對しては此の中に給与所得者が若干含まれてはおりますが、前年通り二千六百万円と見込み、両方を合算して五千万円の数字を出したのであります。

その他法人税、固定資産税、地方交付税、財産収入、手数料、繰越金等に付いては、事務局に於て詳細なる説明書を付してありますので、これにより説明します。

歳出 歳出として人件費は総額約六十八万円増加して、次に款別に申し上げます。

役 場 費 需用費にて戸籍法の改正により、計算器購入を

本町の二大建造物

本年度の道路事業について

今や世は驚くべき文化と化学の建設に事業費を集中され、又、局の計画する道路改良事業は一時代に進みつつある中に、すべ光施設として、ブル建設が実施されての労働職業から見て農業労働され、これは海水浴パンガロこそ高度であり、殊に食糧生産の重要な労働に對しては敬意を表するものであります。従つて農業の振興のためには労働力の軽減と、能率の増進上勢いすべての作業が機械化に進みつつあります。

改良こそ最も緊要事である。現に年々助成中であるが、夏まで完成する予定で、本町についても特に緊急を要する関係の二大事業の実現は、町民の福祉のため誠心其の効果を期待して計画を進めます。

計画中ではありますが、実情は、ものと存じます。そこで其反面に現に工事中にある講堂、公民館、於ては、各方面よりの要望と町当

経済委員長 脇 直一

昭和33年度二宮町歳入歳出予算総括表

歳 入				歳 出			
款	本年度予算額	%	前年比△印減	款	本年度予算額	%	前年比△印減
① 町 税	29,420,946	65.5	2,657,971	① 議 会 費	1,124,670	2.5	125,870
② 地方交付税	2,856,000	6.4	272,000	② 役 場 費	10,882,678	24.3	△ 228,698
③ 公企業及財産収入	105,475	0.2	△ 5,147,525	③ 消 防 費	1,632,962	3.7	△ 165,162
④ 分担金及負担金	260,000	0.6	140,000	④ 土 木 費	1,533,320	3.4	△ 310,490
⑤ 使用料及手数料	1,445,778	3.2	9,656	⑤ 教 育 費	11,215,286	25.0	△ 1,531,632
⑥ 国庫支出金	2,011,310	4.5	948,502	⑥ 社会及労働施設費	5,103,144	11.1	201,782
⑦ 県支出金	1,739,590	3.9	1,180,855	⑦ 保健衛生費	2,726,341	6.1	431,535
⑧ 寄 附 金	1,000,000	2.2	△ 1,349,533	⑧ 産業経済費	5,957,788	13.3	4,940,048
⑨ 繰 入 金	930,000	2.1	930,000	⑨ 財 産 費	715,693	1.6	△ 28,552
⑩ 繰 越 金	1,435,871	3.2	835,871	⑩ 統計調査費	43,350	0.1	29,000
⑪ 雑 収 入	3,674,800	8.2	3,081,800	⑪ 選 挙 費	189,879	0.4	125,939
				⑫ 公 債 費	596,564	1.4	△ 23,550
				⑬ 諸 支 出 金	2,889,760	6.5	△ 236,560
				⑭ 予 備 費	268,335	0.6	△ 243,053
歳 入 合 計	44,879,770	100	3,559,597	歳 出 合 計	44,879,770	100	3,559,597

昭和33年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出予算総括表

歳 入				歳 出			
款	本年度予算額	%	前年比△印減	款	本年度予算額	%	前年比△印減
① 国民健康保険税	2,124,523	38.8	58,672	① 役 場 費	687,173	12.6	134,373
② 一部負担金	25,000	0.5	—	② 保 険 給 付 費	4,460,105	81.5	193,261
③ 手 数 料	670	0	670	③ 保 險 施 設 費	15,000	0.3	△ 5,000
④ 国庫補助金	1,761,298	32.2	262,457	④ 直 診 勘 定 繰 出 金	200,000	3.6	—
⑤ 県支出金	50,000	0.9	—	⑤ 諸 支 出 金	95,463	1.7	△ 16,085
⑥ 繰 入 金	1,500,000	27.4	—	⑥ 予 備 費	17,400	0.3	17,400
⑦ 繰 越 金	10,000	0.2	1,000				
⑧ 雑 収 入	3,650	0	1,150				
歳 入 合 計	5,475,141	100	323,949	歳 出 合 計	5,475,141	100	323,949

昭和33年度二宮町国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出予算総括表

歳 入				歳 出			
款	本年度予算額	%	前年比△印減	款	本年度予算額	%	前年比△印減
① 診療報酬	6,145,960	82.1	190,420	① 施 設 費	7,319,810	97.8	167,428
② 一部負担金	1,004,950	13.4	△ 101,350	② 諸 支 出 金	148,520	2.0	△ 17,710
③ 使用料及手数料	119,000	1.6	46,000	③ 予 備 費	16,580	0.2	△ 14,348
④ 繰 入 金	200,000	2.7	—				
⑤ 繰 越 金	0	—	△ 2,000				
⑥ 雑 収 入	15,000	0.2	2,300				
歳 入 合 計	7,484,910	100	135,370	歳 出 合 計	7,484,910	100	135,370

の他等にて四十万円の増となつております。

消 防 費 貯水槽三ヶ所、五十五万五千円を見込みました。尚本年度予算の編成に付いて、消火施設費四十万円の措置が出来なかつたので、財源の出来た場合に最優先に処置をする事を考えております。

土 木 費 当初の事業計画をなしたるもの、を予算化して行く予定であるも、公民館の継続事業と、プールの県補助金が可能を要します関係にて次に申します四ヶ所

① 原田部落暗渠下水二十五万円 (地元負担五万円)
② 稲荷森線側溝の延長二五万円 (地元負担五万円)
③ 栗谷線改良工事十万円

(地元負担二万円)
④ 下浜橋二十万円 (原田橋架替により桁木用分を活用、地元努力負担)
以上の点を予算化しました。

教 育 費 小学校給食施設につき、予算編成の時に当り申し出があり、公民館の継続事業があり、本年度の財源の出来た場合に最優先に処置をする事を考えております。

其の処置に窮してある次第にて、山西方面の申込みは受け入れ出来なかつた状態にある為、此方面に對して応急処置を取る他、今の処コンボイから、薬品処理の五十万円の積立をした次第です。

産業経済費 内の観光面に於て、数年前よりプールの建設の積立をなし、昨年より県に補助金の要望をしており、本年度補助金の受けたら、此の期を過ぎたら当分の間補助金を受ける事が出来ないか、本年度他の事業を制約して、四百万円の予算を計上したのであります。

右の通り一般会計歳入、歳出の解決を計らなければ、現在に於てアウトラインを申し上げましたが

診療所 歳入は厚生省案による十四万円より

本年は事業面に相当する予算を用い、今迄より歳入に於て、予備のない予算が組まれておるので、追加等の事は恐らく困難と思ひます。

次に特別会計を申し上げます。

国民健康保険 本年十月より医療費に於て85%の値上りを厚生省案によつて実施されるものと思ひます。これにより、本年度の国庫補助金二十六万増額が予想されると同時に、被保険者の保険料が約十万円の増額となり、歳出面に於ては療養給付費約二十万円の増、職員、共済、恩給組合負担金及び人件費について約十万円増となり、六万円の増とあります。

以上の理由にて昭和三十三年当初予算を編成可決しましたが、町民の皆さんの御理解と御援助をお願いする次第であります。

尚数字的には次に掲表が掲上してありますから御参照下さい。

医療費値上りにより診療収入約二十万円の増、歳出に於ては人件費の自然増加等が相当額に昇ります。診療所の施設については、本年度は計画にありませんが、本年度等の方法も考慮に入れて、町民の皆さんに一般診療の便をはかるべく計画しております。

祝祭日には国旗を
かかげましょう